



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2021/2/25 No.31

八地申「**2021年3月ダイヤ改正等に関する申し入れ**」 2月22日
22号 交渉終了

10. 豊田運輸区203行路・甲府運輸区2行路等における拘束時間および行路キロ数の
平準化に向けて改善すること。また、乗務行路作成にあたっては、現場社員の声を幅広く把握し、作成すること。

《その3》

組合) 体力的にも精神的にも疲弊する行路であるとの悲痛の声がある。集中力と安全性を確保する観点からも改善を図ること。

会社) 203行路は、走行キロ: 294km→239.4km、拘束時間: 10:21→9:22と削減してきた。

2行路は、900km、25:00と改善されていないが、全体バランスを見ながら現状維持となっているが、様々な場面で声を聞きつつ、他区所との調整や区所内での調整を行い改善に向けて検討していく。

職場の声を聞きつつ次回ダイヤ改正に向けて
行路改善の検討を行うことを確認！！



11. 第3102M列車は、通勤時間帯であることから、車掌は2人乗務とすること。

組合) 通勤時間帯の列車であり乗車率も高いと認識しており、アフターコロナも見越し2名体制とすべき。

会社) 通勤のお客様が利用されており、現在1名で対応可能な乗車率と考えるが、
車内販売の利用が増加すれば増員についても検討していく。

組合) 今後の社会情勢を見つつ、対応を先取りするべきでは。

会社) アフターコロナ後の乗車人数が増加後検証を行い、乗務人数を検討していく。

社会情勢を見つめ
乗車率を検証し
改善検討を確認！！

12. 奥多摩駅乗務員宿泊所及び、豊田車両センター武蔵小金井派出乗務員宿泊所に断熱、防音、補強工事を施し、乗務員の宿泊環境の改善を行うこと。

組合) ある予算の中で何が可能か検討してほしい。質の良い睡眠がとれなければ事故に繋がる。

会社) 設備更新要求は、各職場からの声に基づき行っており、安全第一である。会社の経営を見つつ
要望の件数が多い箇所から実行を考えている。

13. 豊田車両センター武蔵小金井派出入区後の運転士が、下りホーム詰所に待機する際、密状態となるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から詰所を拡大すること。また、それまでの暫定措置として3人以上が便乗待機となった場合は、自区当直に連絡し、所定より早い発着電車への便乗を認めること。

組合) 行路によって、3名が詰所に集まり、密な状況が発生する場合がある。感染拡大防止に対する考えは。

会社) 感染拡大防止について、詰所に窓が無い場合もあるが、換気扇の使用や扉を開けるなど換気を実施し、乗務員に配布している消毒液を使用してほしい。

組合) 12両化工事において、詰所があるホームが延伸されるが、詰所の改良を行うのか。

会社) 必要であれば、検討をしていく。

《その4へ続く》